

全 仙

ZENBUTSU

J A P A N
B U D D H I S T
F E D E R A T I O N

仏暦2562年1月
[2019年]

No.640

特集「世界仏教徒会議 日本大会」



CONTENTS

新年の挨拶 3

江川辰三 / (公財)全日本仏教会会長
釜田隆文 / (公財)全日本仏教会理事長

特集 4

「世界仏教徒会議 日本大会」

- ・開催概要
- ・各種会議/委員会
- ・開会式典/歓迎レセプション
- ・世界平和祈願法要/記念式典/シンポジウム
- ・基調講演 いま求められる、「智慧にもとづく希望とは」/ジョアン・ハリファックス
- ・大会宣言文
- ・世界仏教徒会議 日本大会を終えて/戸松 義晴(本会事務総長)

本会からの報告 14

- ・第2回花まつりデザイン大賞発表
- ・第23回理事会報告
- ・熊本県仏教会研修会ならびに結成祝賀会出席

年賀交換 16

コラム 檀家数減少時代を考える 前例のないことに挑戦する 28

堀内克彦 / 株式会社寺社旅 代表取締役社長

法話 ぶっぼうそう 30

『菩薩行に生きる』

戸澤宗充 / 日蓮宗

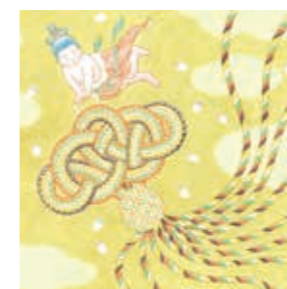
宗教法人運営のための法律入門 31

宗教法人の管理運営 4

題字 31

「全仏」 全日本仏教会 江川 辰三 第33期会長(曹洞宗管長/大本山總持寺貫首)

表紙絵「結微開福」(けちみかいふく) 31



個々では小さいかもしれない様々な生命の動きが、縁となり結ばれ、大きく繋がってゆく様子をイメージしております。仏教の「五色=五行」では、宇宙のすべての要素があらわれおります。それらが「華鬘結び=同心」として結合し、そのチカラが自然のよい循環となり、次の動きに広がるさまを新春にあわせて感じていただけたらと思います。

平みきお / 描手



【主な活動】
和紙、インク、染料などを使い、手描作品の制作および販売。個人・法人のオーダーにもとづく作品制作。実演ワークショップ、レクリエーションの実施など。

「新年のご挨拶」

(公財)全日本仏教会会長 江川辰三



謹んで新春をお祝い申し上げます。
改歳にあたり、世界平和と皆様の益々のご隆昌とご清祥を心より祈念申し上げます。

昨年は群馬県本白根山の噴火に始まり、島根県西部地震、大阪府北部地震、そして平成三十年七月豪雨と、非常に大きな災害が発生いたしました。また立て続けに台風被害に加え、震度七を観測した北海道胆振東部地震は皆様のご記憶にも新しいことと存じます。

犠牲となられた方々に対し深く哀悼の意を表すとともに、ご親族の皆様のご心痛はいかばかりかと拝察申し上げます。

また被災された皆様におかれましても、今尚不自由な生活を余儀なくされている方も多くおられます。衷心よりお見舞い申し上げます、一刻も早い復興を祈念するものであります。

さて、昨年は第二十九回WFB世界仏教徒会議が本国にて開催され、世界各国より多くの仏教徒の方が来日されました。最終日には曹洞宗大本山總持寺において、世界平和を祈る記念法要と、シンポジウムが開催され、盛会裡に円成いたしました。関係の皆様には改めて厚く御礼申し上げます。

本会議のテーマは「慈悲の行動 生死の中に見出す希望」でありましたが、日本国内の災害のみならず、台湾では昨年花蓮地震が起こり、またミャンマーではロヒンギャ難民の生命と人権が脅かされる状況が依然として続いております。

本会は大乗仏教の根本である慈悲心のもと、これらの苦中にある人々の一刻も早い安寧を願い、人道的支援を行ってまいりましたが、先般の会議はその決意をより一層深くするものでありました。皆様には、本会へのご理解と温かいご支援をお願い申し上げますとともに、各位の更なるご健勝とご発展をお祈り申し上げます、年頭の挨拶といたします。

(公財)全日本仏教会理事長 釜田隆文



謹んで新春の祝詞を申し上げます。
昨年六月の理事長就任以来、皆様より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本全国各地で非常に大きな自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。

先ずもって犠牲となられた方々へご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族、関係者の方々にお悔やみと、被災されました皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年十一月には第二十九回WFB世界仏教徒会議、第二十回WFBY世界仏教徒青年会議及び第十一回WBU世界仏教徒大学会議が本国にて開催されました。世界各国より仏教徒の皆様が来日参加され、国籍や宗派の垣根を超えて世界平和を祈る記念法要を営むことができましたことは、ひとえに、和合を説かれた仏陀のみ教えと、その教えを信奉する関係各位のご助力の賜物であります。また、参加された皆様方からは、厳かな法要の雰囲気や統制の取れた修行僧達の進退に感動したとの声を多数お寄せいただきました。改めましてここに厚く御礼申し上げます。

本会もまた多数の教団・宗派が協働し、仏陀のみ教えのもとに一致和合して、本会の掲げる仏教文化の宣揚と世界平和の進展という目的のために多くの事業を遂行しております。しかしながら、世界に目を向けますと、自然災害は言うに及ばず、各地で多くの紛争が続く、多くの尊い命が失われ、また連日、核やミサイル開発、多くのテロ行為、銃乱射事件等々、穏やかならざる問題が世間を騒がせております。

このような時代であるからこそ、人々の和合を説き、民心の安寧を案じ、世界平和を願う我々仏教教団に課せられた使命は大きいと考えております。皆様におかれましては、本年も変わらぬご指導を賜りますとともに、人々の安心と世界平和を志向する本会の活動へのご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

開催概要

第29回WFB世界仏教徒会議 第20回WFBY世界仏教徒青年会議 第11回WBU世界仏教徒大学会議 日本大会

●各種会議・委員会・歓迎レセプション

会場 マロウドインターナショナルホテル成田
(千葉県成田市駒井野763-1)

開催日 2018(平成30)年11月5日(月)~8日(木)

内容 ○総会、WFB・WFBY・WBU各種会議、委員会
○開会式典・歓迎レセプション(7日)

参加者 約350名



●世界平和祈願法要・記念式典・シンポジウム

会場 曹洞宗大本山總持寺
(神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-1)

開催日 2018(平成30)年11月9日(金)

内容 ○世界平和祈願法要
○記念式典
○シンポジウム
○仏教イベント
○閉会式典
○記者会見

参加者 約900名



●ロゴ / テーマ



「Compassion in Action(慈悲の行動)」

日本に数多く残されている仏塔のシルエットをモチーフにしています。仏塔背景の白い円は月や太陽を表しています。月や太陽のひかりのように、仏の智慧が万遍なくこの世を照らすことを表現しております。カラーは仏教の七宝の一つ、瑠璃色となっております。



本会は11月5日(月)~9日(金)にかけて「第29回WFB世界仏教徒会議・第20回WFBY世界仏教徒青年会議・第11回WBU世界仏教徒大学会議 日本大会」を開催し、各種会議体・歓迎レセプションを千葉県成田市にあるマロウドインターナショナルホテル成田において、記念法要・記念式典・シンポジウムを神奈川県横浜市の曹洞宗大本山總持寺にて開催いたしました。

本大会では、「Compassion in Action(慈悲の行動)」をテーマに掲げ、世界各国から約300名の仏教徒が参加し、仏教の示す大きな柱である「智慧」と「慈悲」の根底にある「縁」の教えに基づいた「慈悲の行動」について会議がなされました。また記念法要において、世界の仏教徒とともに、国内の加盟団体、賛助会員、政界、関係団体、寺院や檀信徒が一堂に会し、世界平和と前回開催したWFB日本大会から10年という年月の中で、国内外で発生した災害で犠牲となられた多くの尊いのちの追悼と被災地の早期復興を祈願いたしました。シンポジウムでは「Creating Hope in Life and Death(生死の中に見出す希望)」をテーマとして、社会参画仏教(エンゲージド・ブディズム)の活動について深く学びました。

本号では、大会の様子および成果をご紹介します。

特集

第29回WFB世界仏教徒会議
第20回WFBY世界仏教徒青年会議
第11回WBU世界仏教徒大学会議 日本大会



WFBY会長に就任した村山師

今後2年間の仏教界全体の取り組みが議決されました。また、本大会中に同時開催されている世界仏教徒青年会議では、WFBY日本センター・全日本仏教青年会（JYBA）の村山博雅師が、WFBYの新会長に選出され、満場一致で承認されました。日本、ひいては大乗仏教圏の僧侶がWFBY会長職に就任するのは史上初の快挙です。



各種会議・委員会(5日～8日)

約2年に一度開催されるWFB総会では、各種委員会の活動報告や、大会テーマに基づいた各国に共通する社会問題への提起のもと、仏教界全体として問題解決に向け意見が活発に交わされます。

本大会では「Compassion in Action(慈悲の行動)」をテーマに掲げ、15の国と地域から約300名の仏教徒が集い、国内外において仏教界が直面している諸問題や社会問題、また世界平和実現に向けた活動を、如何に取り組みべきかを話し合われました。

会議は世界仏教徒連盟(WFB)・世界仏教徒青年連盟(WFBY)・世界仏教徒大学(WBU)の3つのセッションに別れて開催され、各国センターの代表者が出席します。それぞれで取りまとめられた活動や今後の取り組みについては、全体会議にて報告がされます。

各会議前後には出席者全員による三帰依文(パリー語・英語・日本語

などの唱和もおこなわれました。

本大会では、WFB最高顧問江川辰三本会会長の代理として釜田隆文本会理事長、WFB副会長として小林正道師、WFB執行役員として戸松義晴本会事務総長、WFB人道支援委員会委員長として日比野郁皓師、WFB副事務総長として東海林良昌師、WFB日本センター代表として本会国際部職員2名が各会議委員会へ参加いたしました。

小林WFB副会長は会議全体を通し、議長として活躍され、日比野WFB人道支援委員会委員長からは、この10年間に日本で発生した様々な災害に際して、WFBからいただいた迅速な支援に対しての御礼などが述べられました。

各会議や委員会において、仏教界全体の具体的な今後の取り組みと本大会で採択される「宣言文」の内容についても諮られました。第2回全体会議では、「2018年東京宣言(別項)」として正式に採択され、

開会式典・歓迎レセプション(7日)

7日には、開会式典と歓迎レセプションを開催いたしました。開会に先立ち、日本仏教や仏教と社会の繋がりを紹介するオープニングムービーを上映しました。



海外参加者に向けて歓迎挨拶を述べる江川会長

開会后、江川会長より海外参加者に向けて歓迎の挨拶が述べられました。挨拶のなかで「仏教の示す大きな二本の柱である『智慧』と『慈悲』において、根底には、すべては関わり合いのなかで活かされている

る存在である」という「縁」の教えがあります。この「縁」に基づいた「慈悲の行動」を世界に向けて発信することこそ、いま世界が陥る混沌を乗り越える唯一の道に連なっていると信じています」と本大会における意義について想いを寄せられました。

続いて、WFB会議日本大会開催にあたり、タイ国大僧正ソムデット・プラヴァナラータ師より寄せられたメッセージをプラ・シヤカヤウォンヴィイスWBU学長が、パン・ワナメッティWFB会長のご挨拶をパロップ・タイアリーWFB事務総長がそれぞれ代読されました。また、デンボン・スワンナチャイロプWFBY前会長からもご挨拶いただきました。

式典では、WFB世界仏教徒連盟会長表彰(活動功労者表彰式)も執り行われ、河野大通師(本会第29期会長)と石上智康師(本会第32期理

理事長が選出されました。表彰式では、WFB本部より受賞の理由が述べられ、表彰状とメダル・プレートなどが手渡されました。また受賞にあたり、お二人から御礼の言葉が述べられました。



左から石上智康師、河野太通師、パロップ・タイアリー氏、小林正道師

全日本仏教会 第29期会長

臨済宗妙心寺派 元管長 龍門寺住職

河野太通

受賞理由…

第29期全日本仏教会会長として、第25回世界仏教徒会議スリランカ大会(2010年コロンボ)において、開会式にて基調講演をおこない、参加者一同に感銘を与えるスピーチをされ、世界に

WFBの存在意義を示された。併せて、日本仏教が世界各地で布教並びに社会貢献活動をされていることを紹介され、日本仏教の存在意義を世界に示された。

また、世界仏教徒連盟会長が訪日した際、京都にて妙心寺を中心にご案内いただき、日本仏教の文化・伝統を紹介されたこと。

全日本仏教会 第32期理事長

浄土真宗本願寺派 総長

石上智康

受賞理由…

第32期全日本仏教会理事長として、故ラーマ第九世タイ国王のWFB主催の火葬式法要(2017年9月)に国王の出家された寺院(バンコク)及び王宮において導師をお務めいただき、WFBの代表、また日本仏教を代表され、ご回向とWFBの最高顧問である国王に哀悼の意をお示しいたいただき、WFBとタイ皇族との信頼関係をより一層深めていただいたこと。

また、ミャンマーのラカイン州において発生した、ロヒンギャ難民の人道支援を全日本仏教会理事長として主導的に決断・実践され、WFB、日本仏教を代表して大会テーマでもある「慈悲の行動」を実践し、世界に示されたこと。

世界平和祈願法要・記念式典・シンポジウム(9日)

9日は神奈川県横浜市にある曹洞宗大本山總持寺に会場を移し、世界平和祈願法要を厳修、記念式典とシンポジウムを開催いたしました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、各宗派のキャラクターたちとともに、總持寺関係の幼稚園並びに保育園の園児たちに元気に出迎えられ、海外参加の方々も笑顔で手を振って応援していました。また、



大般若を転読する僧侶

国内からも350名の参加があり、法要会場である千畳敷の大祖堂は満堂となりました。

法要では、曹洞宗梅花流詠讃歌が奉詠され、江川辰三本会会長を御導師として厳修し、出席者とともに世界平和を祈念しました。江川会長はご垂示で「当本山の御開山・瑩山禅師様は、世の中のすべての人々の幸せを、ご自身の生涯の誓願とされておりました。本大会のテーマである『慈悲の行動』こそ、瑩山禅師様が生涯懸けて尽力された行いであり、ここに並々ならぬご勝縁を実感する次第であります。『智慧と慈悲』を抛りどころとする仏教の教えが、民族や国土の違いを乗り越え、より一層展開されていくことを切に念願いたします」と述べられました。

法要終了後、記念式典を開式し、主催者挨拶として釜田本会理事長、パロップWFB事務総長が挨拶されました。

続いて、ご来賓として、公務のた

授賞式後、小林WFB副会長が閉会の辞を述べ、引き続き歓迎レセプションが行われました。

歓迎レセプション冒頭では、清興として落語家の桂かい枝さんによる「英語で落語」が催されました。日本の古典芸能である落語や海外参加者と共に挑戦した南京玉すだれが披露され、会場は笑い声と大きな拍手で包まれていました。

開会挨拶が述べられ、乾杯の発声を藤田隆乗本会副会長が務めました。乾杯発声後、国や宗派の枠を超えて、和やかに懇談がなされました。レセプションでは、WFB日本大会の開催に際し寄せられた祝電の披露や、WFB本部と本会の記念品贈呈式等が行われました。

閉会挨拶では伊藤正導本会副会長が日本語と英語の両方でスピーチをされ、盛会のうちに幕を閉じました。



海外参加者とともに「南京玉すだれ」を披露

め欠席された安倍晋三内閣総理大臣の代理として、衆議院議員 岸信夫様、公益財団法人日本宗教連盟理事長 田中恆清様のお二方にご挨拶を賜りました。最後に、WFBYの日本センターであり仏教イベントの主催者である全日本仏教青年会を代表して倉島隆行理事長より挨拶をいたしました。

式典終了後、大祖堂正面に移動し、各加盟団体の管長祝下ご門主、役職者の皆様および海外参加者とともに記念撮影を行いました。



ブースにて腕輪念珠を作成する海外参加者

撮影後、海外参加者は三松閣へ移動し、昼食として曹洞宗僧侶が作る精進御膳をいただきました。また同会場では、午後から全日本仏教青年会による仏教イベントが開催され、加盟している各宗派青年よる、それぞれの特徴を生かした宗派をPRするブースや念珠作りなどの体験コーナーも設置されました。また、精進ラーメンや精進ピザ、精進カレーなど趣向を凝らした食の体験もでき、海外参加者はもちろん、国内参加者にも大変好評でした。

午後1時より、三松閣4階の大講堂においてシンポジウムを開催いたしました。基調講演としてアメリカで僧侶・文化人類学者として活躍される、ジョン・ハリファックス師を講師に迎え、「Creating Hope in Life and Death(生死の中に見出す希望)」をシンポジウムテーマに、社会参画仏教(エンゲージド・ブディズム)という観点から、終末期ケアの現場や刑務所での活動に焦点を当てながら、「智慧にもとづく希望」についてお話いただきました。

いま求められる、「智慧にもとづく希望とは」

ジョアン・ハリファックス



ランテアとして働き、ヒマラヤ奥地の診療所では奉仕活動を続け、どの国からも受け入れられない口ヒンギャ難民とともにカトマンズで働くなど、多くの現場で関わってきました。

なぜ、そのような活動をするのかと疑問に思われるかも知れません。今回は、私の経験を踏まえて、終末期ケアの現状や活動に焦点を当て、個人の意識および社会変革の方法としての「智慧にもとづく希望」についてお話をします。

希望とは

まず「希望」は全てが上手くいくという信念ではありません。「希望」は欲望に基づいており、実際に起こりえることとは異なる結果を望むことだと思っています。望みが叶わないことは不幸として経験されることが多いです。

はじめに「希望」は、全てが上手くいくと考える楽観主義ではないことを理解する必要があります。楽観主義者は全てがポジティブな結果になると想像しています。このような見方はとても危険であると私は考えます。楽観主義者というのは、構わなくても、何も行動しなくて良い方向に向かっていくと考える方から来る無関心を扱って所としています。

つまり、楽観主義者も悲観主義者も、関わっていくこと、自身体から責任逃れをしているのです。それでは楽観的でもなく悲観的でもない「希望」とはなんなのか。アメリカの小説家バーバラ・キングソルバーはそれを次のように説明しています。

智慧にもとづく希望とは

ある冬の厳しい情景が目の前にあります。悲観主義者は「恐ろしい冬が近づいています。みんな死ぬでしょう」と言い、楽観主義者は「きっと大丈夫です。そんなに酷くならないでしょう」と言うでしょう。一方、「希望」を抱く人は「2月にまだ生き残っている人がいるかも知れないので、念のため、じゃがいもを地下室に置いておきます」と言うのです。「希望」とは、抵抗の一つのありかたであり、育てることのできる才能であると考えます。

仏教の視点から「希望」を解釈すれば、それが不確定の状態から生まれていることに気づきます。実際、何が本当に起こるかなんて、どうやって知り得ることができませんでしょうか。

でもいませんでした。

しかし、私は現代の医療現場において、慈悲の欠如を目の当たりにし、何事にも最善を尽くすことが必要であると感じました。終末期の患者さんやそのご家族、医療従事者を含めた、全ての苦しむ人たちに奉仕することは義務だと考えています。

死と向き合うことは、人生の実存的な次元を鮮明に浮かび上げさせます。私自身も死を免れず、いつかは死と向き合い、損失と悲しみと対面することを分かっています。終末期ケアの仕事を通して、本来の自分が向かっている方向と自身の体験による学びとが合致していると感じたので、死に行く人に奉仕しなければならぬと悟ったのです。

これを、禅において「誓いによって生きる」と呼ぶのだと私は思います。「智慧にもとづく希望」とは誓いによって生きることであり、それは根本的な誠実さと尊敬の現れだと私は後になって分かるようになりました。

世界情勢からみた宗教者

私達は心理社会的に変化の速い時代に生き、それは軽蔑・嘘・暴力・さらに劣悪なことが当たり前になっている時代でもあります。何をやってでも無駄。希望がない。という感覚が、当たり前になりすぎていく時代に生きています。しかし、一方では社会参加仏教の広がりが世界の様々な場所や社会の様々なセクターで見られるなど、素晴らしい時代にも私たちは生きています。

歴史的にも、チャレンジの多い勇敢な時代であり、私たちにあって、問題に関わっていくため、苦しみと苦しみからの解放の両方、そして無力感と「智慧にもとづく希望」の両方を含む全体を認識することが必要なのです。

道元の翻訳者であり、社会活動家である棚橋一晃先生は「4つのありふれた真実」という教えをまとめられています。それは「智慧にもとづく希望」を実現させるためのパワフルな法則です。

- ① いかなる状況も変えられない、ということはない
- ② 共通のビジョン、優れた戦略、継続した努力でポジティブな変化はもたらされる
- ③ すべての人が違いを生むために手助けできる
- ④ 誰も責任からは逃れられない

私達には可能性を責任と共に、無関心ではなく、心を注いで生きることが求められています。そして誰もその責任を逃れることはできないのです。

死にゆく人や苦しむ人に対して、最善を尽くし、利他の心、共感、誠実さ、尊敬、熱心さをよりどころにしていくことです。そして何よりも大切なのは、「慈悲の心」と「智慧にもとづく希望」なのです。

私は、「希望」とは素晴らしい勝利、恐れに対する勝利であると信じてやみません。

終末期ケアを始めたいきっかけ

近年まで「死」というものについて、西洋文化においては、医療の失敗、もしくは人生の失敗と考えられがちでした。私も終末期ケアの仕事を始めただけの当時、このことが「希望」と関係しているとは考え

た上で、その存在と変容の可能性を良かれ悪しかれ見ていくことなのです。私たちは現実に向き合い、今ある苦しみを克服するため、行動に移すことが何よりも大切なことです。

私は人生の中で、多くの苦しみの現場に関わり、寄り添って生きてきました。1960年代には反戦運動・公民権運動に活動家として関わり、50年間、病院で亡くなっている人々の世話をし、医療従事者に訓練を施してきました。また他にも、死刑囚のためにボ

2018年東京宣言
慈悲の行動
—生死の中に見出す希望—

仏暦2561年(2018年)11月5日から11月9日まで日本の成田市において、テーマ「慈悲の行動」の下、第29回WFB世界仏教徒会議、第20回WFBY世界仏教徒青年会議、第11回WBU世界仏教徒大学会議日本大会が開催されました。

釈迦牟尼仏陀は「生きとし生けるものが幸せでありますように」と仰いました。従って、私たち仏教徒はすべての衆生(生きとし生けるもの)の幸せを願います。この願いを現実のものとするために、第29回WFB世界仏教徒会議の参加者は以下のことを宣言します。

- 私たちは、無駄な消費の削減、リサイクル、再生可能エネルギー資源の採用など、環境に責任をもった生活スタイルを推奨します。
- 私たちは、洪水・地震・津波などの自然災害の被災者に必要な物資や心のケアを通して安心を与えることに尽力します。
- 私たちは、未来を担う子供たちの教育を支援します。世界仏教徒連盟(WFB)と世界仏教徒青年連盟(WFBY)は、2015年の地震によって教育の機会が奪われたネパールの子供たちの支援をしています。
- 私たちは、社会的に無視されている人々、個人的な危機に直面する人々、そして彼らの友人・家族にも希望を与える手助けをします。これは、過疎の地域に住む人々への支援や終末期ケアや介護の支援も含まれます。
- 私たちは、固有の尊厳(本質的に備わっている性質)、平等性、すべての人類の基本的人権を支持します。例えば、多様性と受容性、非暴力(死刑、ロヒンギヤ問題など)、社会的少数者(マイノリティグループ: LGBTQ など)の権利の保護を促進し、難民を支援します。
- 私たちは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の実現を支援します。例えば、貧困集落が生活の質を改善し、収入を増やすことができるような実用技術を身に付ける手助けをします。
- 私たちは、諸宗教間の率直な対話、協働、平和的な協力を通して世界平和の実現を目指します。

世界仏教徒会議 日本大会を終えて

平素より本会活動にご理解とご協力を頂戴し、誠にありがとうございます。

11月5日～9日に開催致しました、第29回WFB世界仏教徒会議・第20回WFBY世界仏教徒青年会議・第11回世界仏教徒大学会議 日本大会に、国内外より多くのご臨席を賜りましたこと、衷心より御礼申し上げます。

本大会では「Compassion in Action (慈悲の行動)」をテーマに掲げ、世界各国の仏教徒とともに各種常設委員会において議論を重ねてきました。世界各地で起こる自然災害での被災によって困難な生活を送る方々、また経済的な困窮により苦しむ方々、差別を受け悲しみの中にいる方々など世界に目を向けると様々な問題が山積しております。これらの問題を受け、大会成果として「2018年東京宣言」を発表致しました。

日本においては高齢化が急速に進み、人口減少などにより様々な問題が起きております。2040年までは死亡人口が増加し続けることから、その方々をケアし、看取るまでが難しくなっています。本会では、特に過疎の地域に住む人々への支援やケアを通して、慈悲をかたちでお伝えできるよう加盟団体の活動を支援してまいります。また2011年の東日本大震災によって引き起こされた、原発事故の教訓である再生可能エネルギー資源の利用や無駄な消費の削減など、環境に責任をもつライフスタイルで「少欲知足」を実現していきます。本大会で得た経験を今この時から、日々の生活の中で実践して参りましょう。

伝統仏教会の連合体である本会の役割を果たすべく、今後とも皆様のご理解、ご協力を賜れば幸いです。

(公財)全日本仏教会事務総長 戸松義晴

休憩をはさみ、根本紹徹師(臨濟宗妙心寺派僧侶)と久間泰弘師(曹洞宗僧侶)の両名からスピーチとして実体験を通じたお話をいただきました。

若者を中心に自死防止相談活動を行う根本師は「日本における若者の死因一位が自殺です」と現状を語り、希望が持てない若者に対して「自殺念慮者の共通点は孤独感に帰着する」と理由を述べられました。またそのことから「近年におけるインターネットの普及により、コミュニケーションの仕方でも変化している」と状況悪化の原因について論じ、そうした対策として「専門家が対応するよりも、一緒に悩める仲間が必要」と主張されました。

2011年3月に発生した東日本大震災以来、被災地の復興支援活動に従事されている久間師は「7年経った東日本大震災は終わっていません」と強く語り、今なお続く被災地の現状を報告されました。特に福島県の子どもたちの現状について報告され、震災に関して「風化」と「無関心」

への危機感を訴え、「世間が忘れていく大切なものを喚起し続けることが宗教者としての使命ではないか」と呼びかけられました。

続いて、武蔵野大学名誉教授であり浄土真宗本願寺派僧侶でもあるケネス・タナカ師と、コーディネーターとして戸松本会事務総長を交えてのフリートークを行いました。タナカ師は3名のスピーチについて「物事をありのままに見るのが仏教の教えであり、みなさんはただ物事をありのままに見るだけではなく、各々ができるかたちで行動に移されました。自利利他の精神をもつて、仏教者として行動に移していくことが大切」とまとめました。シンポジウムは盛況に終わり、参加者からの拍手が鳴りやまないなか、幕を閉じました。

引き続き、同会場にて閉会式典を行いました。開式に先立ち、タイ国王ラーマ十世より拝受した祝辞を駐日タイ国特命全権大使バンサーン・ブンナーク閣下に、タイ国プラユット・ケヤンオチャ首相の祝辞を

引き続き、釜田本会理事長が挨拶を述べ、小林WFB副会長、シヤカヤWBU学長、村山WFBY会長それぞれに、会議によって採択された「2018年東京宣言」に基づく今後の目標と、各センター代表者と出席者への慰労と感謝の意が述べられました。

その後、パロップWFB事務総長と釜田本会理事長の両名に登壇したWFBアドバイザー タネル・スチャリクル博士にそれぞれ代読いただきました。



シンポジウム登壇者

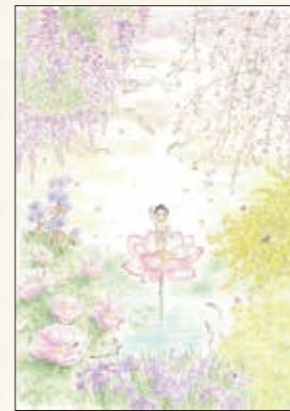
だき、日本大会主催者であるWFB日本センターよりWFB本部へ大会旗返還のセレモニーを行いました。今後大会旗は、次回開催を予定しているセンターに引き継がれます。韓国で開催された前回大会後より2年間にわたってお預かりしていた大会旗を、釜田本会理事長よりパロップWFB事務総長の手に返還をさせていただきます。閉会式典が閉式し、WFB世界仏教徒会議日本大会は無事に円成いたしました。



大会旗をWFB本部へ返還

第2回花まつりデザイン大賞発表！

今回も「第2回花まつりデザイン募集」に多数のご応募をいただき、ありがとうございました。全国から256点の作品を応募いただき、4歳から70歳以上という幅広い年代の方々にご参加いただきました。10月に審査会を開催し、今年の大賞作品を決定しました。



ポスター大賞作品

「花まつり」

もりとも のりこ
森友 典子さん

一人でも多くの方に、この美しい灌仏会(花まつり)という行事を知っていただき、参加していただく一助になれば嬉しいですね。クリスマスが光の祭典ならば、灌仏会は花の祭典として、世間一般に広がっていくことを祈っております。クリスマスに負けるな！



絵はがき大賞作品

「素敵なお顔！」

さとう みほ
佐藤 味保さん

まさかの受賞でビックリです。自分の中での花祭りが描けたかなあと感じております。「愛しさ」「優しさ」「慈しみ」...現実には色々難しいものですが。この絵を見て、少しでも気持ちや和らいでもらえたら幸いです！



絵はがき大賞作品

「みんなの花まつり」

しおた えみこ
塩田 恵美子さん

大賞の連絡を頂いた時はビックリして夢かと思いました。この絵を見てたくさんの方がお花まつりに親しみを持って下さり、優しい心が広がってくると嬉しいです。



絵はがき大賞作品

「おてんとうさまとおしゃかさま」

きたむら ゆり
北村 友莉さん

まさか自分の作品が選ばれるとは思わなかったで、初めは驚きました。自分の作品が皆さんにパワーを与えるものであるかと思っております！

2019年に頒布する花まつりポスター・絵はがきは、大賞作品をもとに作成いたしました。皆さんと一緒に釈迦さまの誕生日である「花まつり」をお祝いし、盛り上げてまいりましょう！

第二十三回理事会開催

日 時：平成三十年十一月二十六日
午後三時
会 場：浄土宗教化研修会館
出席理事：十五名(二十名中)
出席監事：二名(二名中)
議 長：釜田隆文

○議案：
第一号 熊本県仏教会の本会加盟について承認を求めめる件

はじめに和総務部長より熊本県仏教会設立に至る経緯を説明。

「平成二十八年熊本地震が激甚災害に指定されたことに伴い、指定寄附金制度に関する説明会が同年十一月九日に本願寺熊本別院にて開催された。また、同所において、熊本県内の各宗派代表者が集まり連絡会が開催された。連絡会の中で、宗派からの救援の手は出されているが、地域としての繋がりを持つことで、より有効な救援活動を行えることを期待する声があがり、この連絡会を契機に熊本県に仏教会を設立するという声もあがった。同連絡会に出席していた本会事務局も設立に向かうためにサポートすることを申し出

た。その後、五回の設立準備会開催を経て、平成三十年十月九日に開催された第五回設立準備会において、熊本県仏教会が発足し、同準備会で本会への加盟申請についても全会一致による賛同が集まり、加盟申請が届いた。

釜田議長により本案件について賛否を諮り、原案通り全会一致で承認された。

○協議事項

- 第一号 二〇一九(平成三十一)年度事業計画大綱(案)について賛同を求める件
- 第二号 二〇一九(平成三十一)年度予算大綱(案)について賛同を求める件

釜田議長により本案件について賛否を諮り、原案通り全会一致で賛同された。

○報告事項

- 第一号 財団創立六十周年記念事業に関する報告
- 第二号 各部報告
- 【財務部】
財務改善・休会等の加盟団体への対応・関係強化、財団創立六十周年記念事業勸募、平成三十年救済基金、大蔵経運営事業支援、賛助会員、頒布品、税金なんでも相談について

【社会・人権部】

社会・人権審議会、人権セミナー、加盟団体顧問弁護士連絡会、人権問題連絡協議会、仏教懇話会について

【広報文化部】

加盟団体情報の集約及び社会への発信強化、加盟団体と本会との情報共有、広報の質の向上、機関誌「全仏」の発行、ウェブサイトの運営、フェイスブック運用、六十周年サイトの更新、マスコミとの情報交換、花まつりデザイン公募の実施、仏教に関する実態把握調査、広報委員会、記念誌編集委員会について

【国際部】

第三十六回韓日・日韓仏教文化交流法住寺大会、財団創立六十周年記念事業「第二十九回WFB世界仏教徒会議・第二十回WFBY世界仏教徒青年会議・第十一回WBU世界仏教徒大会」日本大会(二部会)、財団創立六十周年記念事業「第二十九回WFB世界仏教徒会議・第二十回WFBY世界仏教徒青年会議・第十一回WBU世界仏教徒大会」について

熊本県仏教会研修会 ならびに結成祝賀会が 開催

平成三十年十二月十三日に熊本県仏教会研修会ならびに結成祝賀会が浄土真宗本願寺派熊本教区事務所とANAクラウンプラザホテル熊本ニユースカイで開催された。

昨年十月九日に発足された熊本県仏教会は現在、曹洞宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、浄土宗、日蓮宗、高野山真言宗、天台宗、荒尾市仏教会、熊本市仏教連合会の九つの宗派、地区仏教会が加盟。熊本県下一一六六カ寺の内、九五カ寺が加入をしている。当日は、加盟する宗派・地区仏教会、関係団体を含め一〇〇名を超える僧侶・会員らが集い、仏教会の発展を祈念するとともに、宗派を超えての親睦を深めた。

研修会では、佐藤泰之氏(大和証券株式会社営業サポート部副部長、法人開発課長公益法人担当)、戸松義晴本会事務総長をそれぞれ講師にお招きし、講義が行われた。佐藤氏は、二〇一七年度に本会と合同調査した「仏教に関する実態把握調査」をもとに「仏教に関する意識調査」僧侶・寺院は社会からどう見られているのか、戸松事務総長は「僧侶・寺院の未来図」をテーマに、それぞれ仏教界の現状を明かし、これ

からの展開について述べた。

会場を移し、結成祝賀会では始めに農利信師(熊本県仏教会会長)より開会の挨拶が述べられた。農利信師は仏教会設立に至った経緯を語り、「仏法を依り処に共に敬い、支えあって社会に貢献したい」と熊本県地震からの復興に向けての決意を固めた。続いて釜田隆文本会理事長が壇上に入り、去る十一月二十六日に開催した本会理事会において、本会への加盟が承認された旨を報告した。また新たな加盟団体の誕生に祝辞を述べ、あわせて平成二十八年熊本地震に対し全国から寄せられた義援金を手交した。懇談は和やかな雰囲気の中、多くの参加者の親睦交流が図られた。

閉会にあたり、海岸秀道師(熊本県仏教会副会長)より挨拶が述べられ、今後の仏教会の充実について力強く語り、祝賀会を締めくくった。



左：農利信師(熊本県仏教会会長) 右：釜田隆文(本会理事長)

新年お慶び申し上げます



高野山真言宗
総本山金剛峯寺

管主 葛西 光義
執行長 添田 隆昭
執行長 長谷部 真道
執行長 橋本 真人
執行長 橋本 真人
執行長 佐伯 公応
執行長 岡部 観栄
執行長 山口 文章
執行長 加藤 栄俊
執行長 佐々木 基文
執行長 丹羽 義寛
執行長 仁賀 大善
執行長 東 伸光
執行長 廣瀬 義仙
執行長 柏田 良辯

加藍維那 東 伸光
東京別院主監 廣瀬 義仙
京都別院主監 柏田 良辯
京都宗務出張所 長

〒648 0211 和歌山県伊都郡高野町高野山三三
TEL 0736(五六)2011
TEL 0736(五六)2011
FAX 0736(五六)4640
<http://www.koyasan.or.jp/>

新年お慶び申し上げます



曹洞宗宗務庁

管長 江川 辰三
宗務総長 鬼生田 俊英
参議 羽仁 素道
参議 佐瀬 道淳
総務部長 橋本 壽幸
伝道部長 中村 見自
人事部長 成田 隆真
教育部長 渡部 卓史
教化部長 喜美候部 謙史
出版部長 結城 俊道
財政部長 服部 秀世

東京港区芝(二)五二一
〒105 8544 〇三(四五)四五四二
▼曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」
<https://www.sotozen-net.or.jp/>



臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長 小倉 宗俊
宗務総長 栗原 正雄
総務部長 上沼 雅龍
花園会館長(兼) 野口 善敬
教育部長 澤田 慈明
財務部長 古山 敬光
花園会 吹田 良忠
法務部長 吹田 良忠

〒616 8035 京都市右京区花園妙心寺町六四
TEL 〇七五(四六三)三二二
TEL 〇七五(四六三)三二二
FAX 〇七五(三五一)一三七二
<http://www.miyoshinji.or.jp/>



浄土真宗本願寺派

総長 石上 智康
総務 池田 行信
総務 阿部 慶一
総務 山下 義円
副総務 弘中 貴之
副総務 竹中 了哲
副総務 尾井 貴童
副総務 丘山 願海

〒600 8501 京都市下京区堀川通花屋町下る
浄土真宗本願寺派 伝道本部(宗務所)
TEL 〇七五(三七)五一八一
TEL 〇七五(三五)一三七二
FAX 〇七五(三五)一三七二
<http://www.hongwanji.or.jp/>



天台宗
祖師先德鑽仰大法会

天台座主 森川 宏映
宗務総長 杜多 道雄
参務部長 寺本 亮洞
参務部長 浅野 玄航
参務部長 甘井 亮淳
参務部長 森田 源真
参務部長 林 光俊
参務部長 森定 慈仁

〒520 0113 大津市坂本四丁目六番二号
TEL 〇七七(五七七)〇〇二二
TEL 〇七七(五七七)〇〇二二
FAX 〇七七(五七七)二五一六
<http://www.tendai.or.jp/>



真宗大谷派
東本願寺
nigashihonganji
Shinshu Otani-ha

宗務総長 但馬 弘
儀式指導 木全 和博
研究部長 八島 昭雄
参務部長 藤井 宣行
参務部長 土肥 人史
参務部長 草野 龍子

〒600 8505 京都市下京区烏丸通七条上ル
常葉町七五四
TEL 〇七五(三七)九一八一
TEL 〇七五(三七)九一八一
<http://www.higashihonganji.or.jp/>



真言宗智山派宗務庁
総本山智積院法務所

管主 小峰 一允
宗務総長 芙蓉 良英
執行長 馬場 修任
執行長 高麗 行真
執行長 笹沼 弘憲
執行長 三神 栄法
執行長 久保田 剛士
執行長 近藤 昌俊

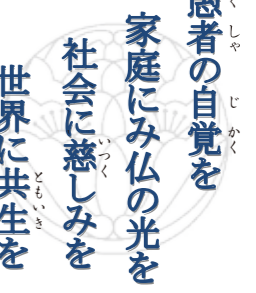
〒605 0951 京都市東山区東大路七条下ル
東瓦町九六四
TEL 〇七五(五四)五三六一
TEL 〇七五(五四)五三六一
FAX 〇七五(五四)五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>



浄土宗
「浄土宗二十一世紀劈頭宣言」
愚者の自覚を
家庭にみ仏の光を
社会に慈しみを
世界に共生を

浄土宗宗務庁
管主 伊藤 唯眞
宗務総長 豊岡 隼尔
総務局長 中村 在徹
教育部長 川中 光教
財務局長 谷上 昌賢
社会国際局長 杉山 俊明
文化局長 新谷 仁海
総長公室長 幸島 正導
人権同和室長 宮林 雄彦
災害対策事務局長 土方 了哉
社会福祉推進事務局長 職員 一同
浄土宗宗務局長 準備事務局長

〒605 0062 京都市東山区林下町四〇〇・八
TEL 〇七五(五二五)二二〇〇
TEL 〇七五(五二五)二二〇〇
FAX 〇七五(五二五)二二〇〇
TEL 105 0011 東京都港区芝公園四・七・四
TEL 〇三(三四三六)三三五一
TEL 〇三(三四三六)三三五一
FAX 〇三(三四三四)〇七四四
<https://jodo.or.jp/>



真言宗豊山派宗務所

管主 田代 弘興
宗務総長 星野 英紀
総務部長 小島 一雄
財務部長 岩脇 彰信
教務部長 笹岡 弘隆
教化部長 陶山 義憲
教化センター長 渡会 瑞顕
総合研究院院長 加藤 純章

〒112 0012 東京都文京区大塚五・四〇・八
TEL 〇三(三九五)〇六三九
TEL 〇三(三九五)〇六三九
FAX 〇三(三九五)〇六三九
<http://www.buzan.or.jp/>



日蓮宗
日蓮聖人降誕八百年

管長 菅野 日彰
宗務総長 中川 法政
伝道局長 塩田 義徹
総務局長 松永 慈弘
伝道部長 松井 大英
教務部長 北山 孝治
総務部長 田中 恵紳
財務部長 木村 吉孝
宗務総長室長 木内 隆志
日蓮宗現代宗教研究所長 三原 正資
日蓮宗新聞社長 渡邊 義生
参事 山口 裕光
参事 吉田 顕綱

日蓮宗宗務院
〒146 8544 東京都大田区池上一・三二・一五
TEL 〇三(三七五)七一八一
TEL 〇三(三七五)七一八一
FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp/>



新年お慶び申し上げます



融通念佛宗
総本山大念佛寺

宗務総長 寺務総長 田中 瑞修


教学部長 法務部長 吉井 良久

庶務部長 佐々木智祥

財務部長 會計部長 篠塚 章臣

〒547 0045 大阪市平野区平野上町一七二六
TEL 〇六(六七九)〇〇二六
FAX 〇六(六七九)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com/>

法華宗(本門流)



一天四海皆輝妙法 お題目総下種運動
咲かそう、いのち
—宗祖日蓮大聖人聖誕800年—

管 長 佐藤 日賢

宗務総長 二瓶 海照

総務部長 三吉 廣明

教学部長 清水 常光

布教部長 吉崎 長生

財務部長 久野 晃秀

企画部長 平田 義生

〒103 0013 東京都中央区日本橋人形町二一九一
TEL 〇三(五六一四)三〇五五
FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

法華宗(陣門流)

管 長 門谷 日悠

宗務総長 西山 英仁

総務部長 牧野 秀成

教学部長 布施 義高

財務部長 金原 孝宜

教化部長 松吉 慶憲

企画部長 今井 満良

〒170 0002 東京都豊島区葉巻五三五六
TEL 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三五七六)〇一二一

法華宗(真門流)

管 長 上田 日猷

宗務総長 堀 智泰

総務部長 堀内 浩善

教学部長 峰尾 泉栄


教化部長 木田 慧明

社会部長 坂本 法保

財務部長 寺田 良正

〒602 8447 京都市上京区智慧光院通五辻上る紋屋町三三〇
TEL 〇七五(四四一)五七六二
FAX 〇七五(四四一)五六六六
<http://www.hokkeshu.jp/>

顕本法華宗



平成34年 宗祖日蓮大聖人 御降誕八〇〇年
顕本法華宗

管 長 山本 日恵

宗務総長 河野 時巧

宗務次長 吉永 義康

教務部長 小松 正学

財務部長 吉田 諦規

庶務部長 湯原 正純

社会部長 齊藤 成貴

布教部長 朝倉 俊泰

〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九十一
TEL 〇七五(七九二)七一一一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

新年お慶び申し上げます



天台真盛宗
総本山西教寺

貫 首 長 武田 圓寵

宗務総長 執事 長 喚阿 宏道

教学部長 別所 泰広

社会部長 蜂谷 眞勝

庶務部長 大窪 功真

財務部長 真弓 佳章

〒520 0113 滋賀県大津市坂本五三三一
TEL 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

天台寺門宗

管 長 福家 英明

宗務総長 村上 法照

教学部長 福家 俊彦

財務部長 明石 清澄


修験道部長 秋田 幸輝

庶務部長 加藤 明信

録 事 三島 宗覚

〒520 0036 滋賀県大津市園城寺町二四六
TEL 〇七七(五二二)五一一〇
FAX 〇七七(五二二)五一一八

大日本佛法最初
四天王寺



聖徳太子 千四百年御聖忌 2022年 厳修

管 長 森田 俊朗

清光院 健代 和央

地藏院 加藤 公俊

真光院 瀧藤 尊淳

施行院 南谷 恵敬

吉祥院 塚原 昭應

奥之院 宮崎 光映

東光院 出口 隆順

静専院 吉田 明良

宝泉寺 廣瀬 善重

一音院 坂本 峰徳

勝鬘院 山岡 武明

中之院 森田 惇朗

〒543 0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺一丁目十一番十八号
TEL 〇六(六七七)〇〇六六
FAX 〇六(六七七)四九二一
<http://www.shitennoji.or.jp>

総本山仁和寺
真言宗御室派

管 門 長 瀨川 大秀

執行総長 宗務総長 吉田 正裕

執行総長 鴨井 智峯

教学部長 長岡 誠宏

執行 財務部長 大石 隆淳

〒616 8092 京都市右京区御室大内三三
TEL 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://nimajji.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺事務所

座 主 長 仲田 順和

宗務総長 執行 長 壁瀬 宥雅

総務部長 執行 仲田 順英

教学部長 執行 田中 祐考

財務部長 執行 浦郷 宜右

〒610 1325 京都市伏見区醍醐東大路町二二
TEL 〇七五(五七七)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七七)〇一〇一
<http://www.daijosi.or.jp>

新年お慶び申し上げます



公益財団法人
仏教伝道協会

会長 木村 清孝
理事長 桂 紹隆
常務理事 青木 晴美
理事 上山 大峻
理事 門脇 邦彦
理事 野村 邦武
理事 沼田 恵明
理事 生田 忠士
監事 中野 東禅
監事 松村 智司

〒108-0014 東京都港区芝四丁目三、一四
TEL 〇三(三四五五)五八五一
FAX 〇三(三七九八)二七五八
http://www.bdk.or.jp

聖観音宗
浅草寺

貫首 田中 昭徳
執事 長 守山 雄順

〒111-0032 東京都台東区浅草一、三、一
TEL 〇三(三八四二)〇一八一
FAX 〇三(三八四五)六九三三

金峯山修験本宗
総本山金峯山寺

管領 五條 良知
宗務総長 執行 長 五條 永教

〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町
吉野山二四九八
TEL 〇七四六(三二)八三七一
FAX 〇七四六(三二)四五六三
http://www.kinpusen.or.jp

念法真教

総本山小倉山金剛寺

〒538-0054 大阪市鶴見区緑三、四、二二
TEL 〇六(六九一一)二二〇一
http://www.nenpoushinkyou.jp

孝道教団

統理 岡野 正純

〒221-0064 横浜市神奈川区鳥越三八
TEL 〇四五(四三二)一一〇一
FAX 〇四五(四三四)一一八八

新義真言宗
総本山根来寺

管主 中村 元信
宗務総長 妹川 敬弘
寺務長 四柳 隆澄

〒649-6202 和歌山県岩出市根来二、八六
TEL 〇七三六(六二)一一四四
FAX 〇七三六(六二)一〇四四

真言宗大覚寺派
大本山大覚寺

門跡 黒沢 全紹
宗務総長 執行 長 伊勢 俊雄

〒616-8411 京都市右京区嵯峨大沢町四
TEL 〇七五(八七一)〇〇七一
FAX 〇七五(八七一)〇〇五五
https://www.daijakuji.or.jp/

真言宗須磨寺派
大本山須磨寺

貫主 小池 弘三

〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺町四、六、八
TEL 〇七八(七三二)〇四一六

弘法大師御誕生1250年
記念大法会厳修

—2023年4月23日(開白)～
5月14日、6月14日、15日(結願)—
—24日間—
於：総本山 善通寺

弘法大師御誕生所
総本山善通寺
真言宗善通寺派宗務庁

〒765-8506 香川県善通寺市
善通寺町三、三一
TEL 〇八七七(六二)〇一一一
FAX 〇八七七(六二)四三〇二

新年お慶び申し上げます



一般財団法人
埼玉県佛教会

会長 倉持 秀裕
副会長 加藤 玄静
同 桑原 恒久
専務理事 深谷 雅良
常務理事 山口 正純
同 河野 亮玄
同 馬場 知行
同 井倉 賢照
事務局 金子 嘉広

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂
四、一三、一八
TEL 〇四八(八六一)二一三八
FAX 〇四八(八六四)六六四九
http://saibutunet/

神奈川県仏教会

会長 和田 大雅
副会長 都築 哲信
同 木内 雍明
同 丸山 邦雄
同 宗澤 文良
事務局 山本 昭弘

〒231-0859 横浜市中区大平町九六
西有寺内
TEL 〇四五(六六一)〇一六六

愛知県仏教会

顧問 吉田 教行
顧問 伊藤 正導
会長 舎人 経昭
副会長 渡邊 徳温
副会長 山田 泰信
副会長 岩木 涼山
理事長 軽部 浩史
事務局 佐野 真吾

〒468-0051 名古屋市中区植田一、三二一
全久寺内
TEL 〇五二(八九三)九二九〇
FAX 〇五二(八九三)九二九〇

京都府仏教連合会

理事長 芙蓉 良英
理事 武田 昭英
同 但馬 弘
同 北川 一有
同 栗原 正雄
同 壁瀬 宥雅
同 橋本 一妙
同 竹内 文成
同 佐藤 泰慎
同 長谷 雄祐
同 村山 孝純
同 川島 永嗣
同 豊田 元彦
同 八幡 覺堯
同 加藤 良邦
同 奥垣 圭哲
同 三井 雅弘
同 佐々木 亮一
同 赤塚 高明
同 佐野 充照
同 浦田 正宗
同 吉川 文雄
同 西山 恵龍
同 柏田 良辯
同 安田 真源
同 櫻井 随峰
同 成田 隆徳
同 三神 栄法

〒605-0951 京都市東山区東大路通り七条下
東瓦町九六四 総本山智積院内
TEL 〇七五(五四一)五三六一

大阪府佛教会

会長 加藤 定厚
副会長 村山 廣甫
同 森 快隆
同 藪木 恵照
同 瀧藤 尊淳
同 丹農 秀知
同 立石 泰教
同 二上 寛弘
事務局 二上 寛弘

〒552-0021 大阪市港区築港一、十三、三
釋迦院内
TEL 〇六(六五七二)五七一〇

新年お慶び申し上げます



**本山佛立宗
本山宥清寺**

講 有 高須 日良
宗務総長 小西 日演

本山宥清寺
〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
〒602 8377 京都市上京区御前通一条上る
東堅町一〇番地
TEL 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六一)五五九九
京都佛立ミュージアム
TEL 〇七五(二八八)三三四四
URL <http://www.hbsmuseum.jp>

**黄檗宗
大本山萬福寺**

管 長 近藤 博道
宗務総長 盛井 幸道

二〇二二年
宗祖隠元禪師三五〇年大遠諱
350
宗祖隠元禪師三五〇年大遠諱

〒611 0011 京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
TEL 〇七七四(三二)三九〇〇
FAX 〇七七四(三二)六〇八八

**真言律宗
総本山西大寺**

真言律宗管長 大矢 實圓
真言律宗宗務長 松村 隆誉

総本山西大寺
〒631 0825 奈良市西大寺芝町一丁目一の五
TEL 〇七四(四五)四七〇〇
FAX 〇七四(四五)四七二〇

**華嚴宗
大本山東大寺**

華嚴宗管長 狭川 普文
東大寺別當

〒630 8587 奈良県奈良市雜司町四〇六一
TEL 〇七四(二二)五五一
FAX 〇七四(二二)〇八〇八

福島県仏教会

会 長 保森 英士
専務理事 小田 修史
事務局 三瓶 信晃

〒963 8877 福島県郡山市堂前町四・二四
如寶寺内
TEL 〇二四(九二二)〇六〇七
FAX 〇二四(九二二)〇九九三

北海道仏教会連盟

会 長 中尾 了信

〒060 0003 札幌市中央区北三条西
十九丁目二・一
浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内
TEL 〇一一(六一)九六二三

東京都仏教連合会

会 長 菅野 日彰
理事長 新美 昌道
事務局 新倉 典生

〒123 0851 東京都足立区梅田一・二六・十
善立寺内
TEL 〇三(三八八)一三六七
FAX 〇三(三八八)八二五二

茨城県仏教会

会 長 鈴木 堯將
副会長 徳永 光由
副会長 永徳 眞隆
副会長 奥田 俊裕
事務局 長谷川 玄應

〒316 0032 茨城県日立市西成沢町二・十一・二
宝塔寺内
TEL 〇二九四(三七)二六一七
FAX 〇二九四(三四)六二六三

岐阜県仏教会

顧問 寺町 研山
会 長 杉山 令憲
理事長 岩水 龍峰
事務局 横山 善道

〒500 8882 岐阜市西野町三一
岐阜西別院庫裡
TEL 〇五八(二六六)七八〇三
FAX 〇五八(二一四)四〇八一
<http://dukkyogifunet/>

山梨県仏教会

会 長 姉川 慈航

〒404 0032 山梨県甲州市
塩山下粟生野一四五九
TEL 〇五五(三三)九六四二
FAX 〇五五(三三)九六五四

新年お慶び申し上げます



**真言三寶宗
大本山清澄寺**

管 主 坂本 光謙
宗務 岡田 康秀
執行 有井 良隨

鉄斎美術館 森藤 光宣

〒665 0837 宝塚市米谷字清シ一番地
TEL 〇七七(八六)六六四一
FAX 〇七七(八六)六六六〇
<http://www.kiyoshikojin.jp>

**真言宗中山寺派
大本山中山寺**

長 老 今井 淨圓

〒665 8588 宝塚市中山寺二丁目十一・一
TEL 〇七七(八七)〇〇二四
FAX 〇七七(八七)九八七七
<http://www.nakayamadera.or.jp>

東寺真言宗

宗務総長 橋本 尚信

〒601 8473 京都市南区九条町一
東寺真言宗宗務庁
TEL 〇七五(六七)三七一七
FAX 〇七五(六六)六八五六

**信貴山真言宗
総本山朝護孫子寺**

管 長 野澤 密孝
前管 田中 眞瑞
元管 鈴木 貴晶

〒636 0923 奈良県生駒郡平群町信貴山
二二八〇一
TEL 〇七四(七二)二二七七

**真宗高田派
本山専修寺**

宗務総長 増田 修誠
務 藤谷 知良
務 真置 和徳

〒514 0114 三重県津市一身田町二八一九番地
TEL 〇五九(二三)四一七一
FAX 〇五九(二三)一四一四

**西山浄土宗
総本山光明寺**

法 主 堀本 賢順
宗務総長 櫻井 随峰
宗務 長 櫻井 随峰

〒617 0811 京都府長岡京市粟生西条の内
二六番地の一
TEL 〇七五(九五五)〇〇〇二
FAX 〇七五(九五三)二二六四
東京別院
〒194 0215 東京都町田市小山ヶ丘一・二・一
TEL 〇四二(七九四)八五八五
<http://www.komyo-ji.or.jp/>
横浜分院
〒223 0053 神奈川県横浜市港北区綱島西二二二四
TEL 〇四五(五四四)四八九四
E-mail: betun@ax.catv.ne.jp

**臨済宗南禅寺派
大本山南禅寺**

管 長 中村 文峰
宗務総長 蓮沼 良直
内局 一同

〒606 8435 京都市左京区南禅寺福地町八六
TEL 〇七五(七七)〇三六五
FAX 〇七五(七七)六九八九

**時宗
総本山清浄光寺**

法 主 加藤 円住

〒251 0001 神奈川県藤沢市西富一八・一
TEL 〇四六(二三)七二七六

**臨済宗相国寺派
大本山相国寺**

管 長 有馬 頼底
宗務総長 佐分 宗順

〒602 0898 京都市上京区今出川通烏丸東入
相国寺門前町七〇一番地
TEL 〇七五(二三)〇三〇一
FAX 〇七五(二二)三五九一
<http://www.shokoku-ji.jp>

**臨済宗円覚寺派
大本山円覚寺**

管 長 横田 南嶺
宗務総長 青木 宜孝

〒247 8503 鎌倉市山ノ内四〇九
TEL 〇四六七(二二)〇四七八
FAX 〇四六七(二二)三〇二七
<http://www.engakuji.or.jp>

新年お慶び申し上げます



理事長 長谷川 岱潤
 副理事長 須藤 大恵
 副理事長 平井 良昌
 〒113 0033 東京都文京区本郷一、四六二〇二
 TEL 〇三(三八一三) 六五七七
 FAX 〇三(三八一三) 六七九四

一般社団法人 仏教情報センター

理事長 中山 秀成
 〒174 0041 東京都板橋区舟渡四、十五、一
 TEL 〇三(三九六七) 三二八八

日本仏教鑽仰会

新年お慶び申し上げます



会長 鈴木 眞道
 副会長 増田 元裕
 同 鏡島 元昭
 同 法山 高秀
 同 吉田 空玄
 〒420 0810 静岡県静岡市葵区上土
 TEL 〇五(二六) 七五四七

静岡県仏教会

会長 福家 英明
 〒520 0036 滋賀県大津市園城寺町二四六
 TEL 〇七七(五二二) 二二三八
 FAX 〇七七(五二二) 二二二一

滋賀県仏教会

一般財団法人
京都仏教会
 理事長 有馬 頼底
 〒602 0898 京都府京都市上京区今出川通
 烏丸東入相国寺門前町 六三六一
 TEL 〇七五(二二三) 六九七五
 FAX 〇七五(二二三) 六九七六

一般財団法人 京都仏教会

会長 篠原 法傳
 〒662 0974 兵庫県西宮市社家町一三六
 TEL 〇七九八(三五) 二三八八
 FAX 〇七九八(三五) 八八〇二

兵庫県佛教会



会長 藤田 隆乗
 副会長 市川 智康
 副会長 柴田 哲彦
 理事長 西郊 良光
 事務総長 渡邊 真行
 〒210 8521 神奈川県川崎市川崎区
 大師町四、四八
 TEL 〇四(二六六) 三四二〇
 FAX 〇四(二七七) 八一六三

日韓仏教交流協議会

会長 清水谷 善圭
 〒692 0033 島根県安来市清水町五二八
 TEL 〇八五四(二二) 二一五一
 FAX 〇八五四(二二) 二一〇七

島根県仏教会

会長 本山 瑞峰
 〒711 0933 岡山県倉敷市児島通生二二七
 TEL 〇八六(四七〇) 五九五九
 FAX 〇八六(四七三) 五九五九

岡山県佛教会

妙見宗
 真言宗山階派
 真言宗泉涌寺派
 真言宗国分寺派
 真言宗大鳴派
 浄土宗西山禅林寺派
 浄土宗西山深草派
 真宗佛光寺派
 真宗興正派
 真宗木辺派
 臨済宗建長寺派
 臨済宗天龍寺派
 臨済宗東福寺派
 本門法華宗
 法相宗
 聖徳宗
 律宗
 青森県仏教会
 岩手県仏教会
 栃木県仏教会

群馬県仏教連合会
 千葉県仏教会
 新潟県仏教会
 石川県仏教会
 福井県仏教会
 長野県仏教会
 和歌山県仏教会
 鳥取県仏教連合会
 (一社) 徳島県仏教会
 香川県仏教会
 高知県仏教会
 福岡県仏教連合会
 長崎県仏教連合会
 熊本県仏教会
 宮崎県仏教連合会
 沖縄県仏教会
 (公財) 国際仏教興隆協会
 東京ブディストクラブ
 (公社) 在家仏教協会

会長 越智 瑞啓
 副会長 仁田 喜潤
 副会長 白石 一玄
 監事 福山 闊道
 監事 水崎 圭二
 事務局 叶 宜朗
 書記 谷本 哲岳
 高木 恒人
 〒799 1607 愛媛県今治市朝倉上甲九一八
 TEL(F) 〇八九八(五六) 二二〇四

愛媛県仏教会

会長 東伏見 具子
 理事長 末廣 久美
 〒151 0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷
 四、五、十一、二〇五
 TEL 〇三(五七七二) 〇六七七
 FAX 〇三(六四三四) 〇一八四
 http://jbwf.jp
 Email:info@jbwf.jp



公益社団法人 全日本仏教 婦人連盟

理事長 緑谷 一雄
 〒105 0011 東京都港区芝公園四、七、四
 TEL 〇三(三四三三) 七四七五
 FAX 〇三(三四三三) 一五一九

公益社団法人 日本仏教保育協会

理事長 倉島 隆行
 事務局 内藤 宏信
 〒961 8001 福島県西白河郡西郷村
 羽太字狸屋敷一六四
 TEL 〇二四八(二五) 三五〇七
 FAX 〇二四八(二五) 三五二六
 Email info@jybane.jp
 URL http://www.jybane.jp



全日本佛教青年会 WFBY 世界佛教徒青年連盟 日本センター

新年お慶び申し上げます



【個人会員】
 稲盛 和夫（京セラ株式会社名誉会長）
 社本 公一（公認会計士）
 天性寺 毛利 俊行（山形県）
 護勢寺 菅原 公宇（宮城県）
 福聚院 伊達 廣三（宮城県）
 慈願寺 池田 行信（栃木県）
 東榮寺 大森 篤史（埼玉県）
 法瑠寺 矢島 浄純（埼玉県）
 建福寺 安野 正樹（埼玉県）
 光明寺 石上 智康（千葉県）
 萬福寺 垣内 善勝（東京都）
 妙定院 小林 正道（東京都）
 慈眼寺 櫻井 英幸（東京都）
 浄心寺 佐藤 雅彦（東京都）
 信松院 西村 輝成（東京都）
 玉林禅寺 長谷 琢堂（東京都）
 慶安寺 深澤 信善（東京都）
 真照寺 堀井 隆川（東京都）
 廣徳寺 板坂 光明（神奈川県）
 大蔵寺 佐藤 直道（神奈川県）
 金蔵院 眞田 有快（神奈川県）
 龍泉寺 壽山 良光（神奈川県）
 圓滿寺 西郊 良光（神奈川県）
 正泉寺 野澤 隆幸（神奈川県）
 清水寺 久喜 和裕（神奈川県）
 重蓮寺 関崎 幸孝（新潟県）
 玄向寺 荻須 眞教（長野県）
 本光寺 木村 光正（静岡県）

寂光院 松平 實胤（愛知県）
 太福寺 佐久間大道（兵庫県）
 善隆寺 杉浦 栄俊（兵庫県）
 吉祥院 曾我 龍慶（兵庫県）
 精明寺 疋田 哲壽（鳥取県）
 龍仙寺 武田 昭英（広島県）
 誓光寺 村上 智真（山口県）
 西光寺 高橋 篤法（大分県）
 波邊 永（宮城県）
 鈴木 朝雄（千葉県）
 小川 昌美（東京都）
 北野 讓治（東京都）
 小林 昇（東京都）
 平 みきお（東京都）
 鳥居 邦夫（東京都）
 松村 朱実（東京都）
 天久保 貴（神奈川県）
 君和田茂男（神奈川県）
 佐藤 泰之（神奈川県）
 中村美津江（神奈川県）
 東田 樹治（神奈川県）
 松田 健（神奈川県）
 田中 悠樹（長野県）
 山崎 忠征（愛知県）
 安田 容造（京都府）
 平野 泰寛（和歌山県）
 山口 展弘（福岡県）
 井上美和子（佐賀県）
 塩月 光夫（宮崎県）

赤松 広隆（衆議院議員）
 荒井 聰（衆議院議員）
 岩屋 毅（衆議院議員）
 枝野 幸男（衆議院議員）
 大塚 高司（衆議院議員）
 大串 博志（衆議院議員）
 金子 恭之（衆議院議員）
 上川 陽子（衆議院議員）
 河村 建夫（衆議院議員）
 小島 敏文（衆議院議員）
 佐藤ゆかり（衆議院議員）
 高市 早苗（衆議院議員）
 野田 毅（衆議院議員）
 原口 一博（衆議院議員）
 平沢 勝栄（衆議院議員）
 前原 誠司（衆議院議員）
 牧島かれん（衆議院議員）
 松本 剛明（衆議院議員）
 松本 文明（衆議院議員）
 三原 朝彦（衆議院議員）
 大塚 耕平（衆議院議員）
 大野 元裕（衆議院議員）
 片山さつき（衆議院議員）
 斎藤 嘉隆（衆議院議員）
 武見 敬三（衆議院議員）
 中川 雅治（衆議院議員）
 中山 恭子（衆議院議員）

二之湯 智（参議院議員）
 白 眞勲（参議院議員）
 福山 哲郎（参議院議員）
 早坂 義弘（東京都議会議員）
 浅尾慶一郎（元衆議院議員）
 楠田 大蔵（元衆議院議員）
 高村 正彦（元衆議院議員）
 今野 智博（元衆議院議員）
 高木 義明（元衆議院議員）
 田島 一成（元衆議院議員）
 保利 耕輔（元衆議院議員）
 松本 謙公（元衆議院議員）
 岩城 光英（元衆議院議員）
 佐藤 公治（元衆議院議員）
 佐藤 泰介（元衆議院議員）
 鈴木 寛（元衆議院議員）
 鈴木 政二（元衆議院議員）
 田名部匡省（元衆議院議員）
 谷川 秀善（元衆議院議員）
 藤谷 光信（元衆議院議員）

新年お慶び申し上げます



賛助会員

【特別会員】
 大本山東福寺 遠藤 楚石
 蓮華院誕生寺 川原 英照
 尾道仏教会 麻生 章雄
 實相山中央寺 南澤 道人
 信州善光寺 若麻績信昭
 妙見閣寺 竹内 日祥
 一般社団法人仙台仏教会 伊達 廣三
 壺阪山南法華寺 常盤 勝範

【団体会員】
 京セラ株式会社（電子機器製造）
 東映株式会社（映画）
 株式会社カナメ（建築）
 大建工業株式会社 置材部（建築）
 日鐵住金建材株式会社（建築）
 松井建設株式会社（建設）
 総合警備保障株式会社 城東支社（警備）
 東京海上日動火災保険株式会社 広域法人部 第一課（保険）
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社（保険）
 大和証券株式会社 営業サポート部（ビジネスサポート）
 野村證券株式会社 金融公共公益法人部（金融）
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（金融）
 キヤノンマーケティングジャパン株式会社（ビジネスソリューション）
 朝日ビジネスソリューション株式会社（コンサルティング）
 株式会社大陸旅遊（旅行）
 株式会社阪急阪神ビジネスストラベル（旅行）
 株式会社ビーエス観光（旅行）
 株式会社JTB 新宿第一事業部（旅行）
 KNTCTホールディングス株式会社 グループ事業推進本部 営業推進本部（旅行）
 東日観光株式会社（旅行）
 東武トップアーズ株式会社（旅行）
 株式会社わらび座（旅館・劇団）
 日本テンプルヴァン株式会社（寺院経営コンサルタント）
 いちよしビジネスサービス株式会社（総合販売）
 有限会社新宿アカウンティングオフィス（経営コンサルタント）
 株式会社縁（寺社仏閣総合リスクコンサルティング）
 8 infinity 株式会社（神社仏閣総合経営支援）
 株式会社東海大阪レンタル（イベント・レンタル）
 株式会社エコ・マイニング（環境・エネルギー）
 FTエナジー株式会社（電力・エネルギー）

テイケイヘンデルアート（印刷）
 株式会社大洋社（制作・印刷）
 株式会社オメガ・コミュニケーションズ（翻訳、出版物企画・制作）
 株式会社ティ・エイ・ティ・コーポレーション（出版物企画・制作）
 新日本法規出版株式会社（法規圖書出版）
 株式会社廣済堂（印刷・IT・Web・求人広告・人材サービス）
 株式会社便利堂（美術印刷・企画）
 株式会社ルンビニ（保険代理店）
 株式会社小堀（仏壇仏具製造・販売）
 株式会社若林工芸舎（文化財保存修理）
 株式会社公益社（葬祭）
 株式会社タイセイ（総合商社）
 株式会社いせや（石材業）
 株式会社AVENIL（お寺の窓口運営・WEB制作）
 全日本宗教用具協同組合
 全日本葬祭業協同組合連合会
 全日本葬祭業協同組合
 岩手県葬祭業協同組合
 埼玉葬祭業協同組合
 東京都葬祭業協同組合
 神奈川県葬祭業協同組合
 岐阜県葬祭業協同組合
 名古屋葬祭業協同組合
 愛知県葬祭業協同組合
 京都中央葬祭業協同組合
 大阪葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 長崎県葬祭業協同組合
 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
 一般社団法人日本石材産業協会
 一般社団法人遺品整理士認定協会
 一般社団法人LCS相談センター
 一般社団法人仏教検定協会
 一般社団法人PRAY for (one)
 一般社団法人日本地域振興新聞社
 一般財団法人ライフプランニングセンター
 一般財団法人100万人のクラシックライブ
 日本仏教看護・ビハラー学会
 准秩父観音霊場三十四札所

檀家数減少時代を考える

前例のないことに挑戦する

株式会社寺社旅・代表取締役社長 堀内克彦

現代社会で急速に広がった言葉の一つに「老害」があります。どちらかと言えばインターネット上でのスラングに近く、気持ちの良いものではないかもしれませんが。

ですが倫理・道徳的な観点からは横置き、老いることがなぜ侮蔑の対象となってきたのか。ここには二つの理由があります。

ひとつは年配者の数が急速に増えていることです。100年生きる人間が多くなかった時代には、長寿自体が憧憬の対象でした。しかしそれがありふれた存在に変わったことで、世間からその気持ちは薄らいでいます。

また高齢者の人口比率が高くなり、この世代の意見が政治に過剰に反映されやすくなる「シルバーデモクラシー」も問題になりました。年金受給額の世代格差も深刻で、若者から見た年配者は搾取される対象となりつつあります。

そしてもう一つ、私は一生使えるスキルが少なくなってきたこともあると考えています。言うなれば、知識や経験を積み上げる価値が失われてきたのです。知識や経験に価値が無くなったと言

知識や経験のある人ほど混乱が生じることは想像に難くないでしょう。

私は日本でもお坊さんの話を聞いた数、それも宗派問わず多様なお寺で聞いた数ではトップクラスだと思います。その中で強く感じたことは、「法話が心に届かない」ということです。

その原因は何かをずっと考えていました。お坊さんたちは常人には計り知れない修行をされ、様々な仏様の教えに精通しています。多くの檀家さんと向き合い、強固な信頼も得ています。人間としても世間で騒がれるような、強欲だったり横柄な態度の方はそれほど多くありません。しかし人前に立って利害関係のない人間に話をするには、圧倒的に何かが足りないのです。

私はそれは、お坊さんの背中が見えないためだと感じました。もう少し噛み砕くと、仏教を土台にして、お坊さんがどのように困難に向かっているかが伝わってこないということです。

仏教とは人生に対する智慧の固まりだと、世間では考えられています。そうであれば僧侶は生きることの専門家であれば嘘になりません。

お坊さんからは、僧侶だって人間だもの」とという言葉をよく聞きます。しかし私はそれが許されない立場にいるのが僧侶ではないかと考えています。温もりのある「人間らしさ」は必要で

す。しかし「人間だもの」は不要です。お坊さんは良い意味でも悪い意味でも通常の人間として扱われない、それほど特殊な存在です。

私たちが法話に耳を傾けるのは、そこに人生を引っ張る何かがあると期待しているからです。心の奥の奥にある悩みを吐露したり、亡くなった家族の葬儀や法要をお願いするのも、常人とは一線を画した超人だと信じているからです。

お坊さんが仏教を広めたいのであれば、仏教は良いものなのだとか背中を証明する責任があります。万人に出来ないことに立ち向かい、理想に向けて事を成し遂げていく。仏道を歩んでいく人間は違う。そう思われてやっとな、生きることの専門性が発揮されたと言えます。

そしてそれを最もわかりやすい形で示すことができるのは、「前例のないことに挑戦すること」です。

少し皮肉めいたことを言えば、私は諸行無常から最も

遠いところにあるのがお寺ではないかと考えています。これはお坊さんが悪いのではなく世間から位置付けられた面もありますが、お寺には



超宗派僧侶による企画会議

永続性が求められています。

しかし知識や経験を捨て去ることを常に求められる社会と、悠久の仏教を見比べた時に、この諸行無常へのアプローチに差が生まれていることは問題です。

積み重ねてきたものを手放したり、未知の手法に飛び込むことは簡単ではありません。やり方を変えれば軌轡が生じますし、短期的にはパフォーマンスも大きく落ちます。

しかし私たちお寺の外にいる人間は、自分を変えることを怖れるお坊さんに、人生をリードしてほしいなどは思わないのです。

先日、あるお寺の副住職から相談を受けたことがあります。それは住職(親)が引退して自分の代に変わるまで、新しいことは何もできないというお話です。

「副住職は服従職ですから」なんてダジャレを聞くこともあります。私はそんなことを言っている場合ではないと感じています。

「檀家数減少時代を考える」というテーマで、ここまでこのコラムを書かせて頂いたのは、お寺に未曾有の危機が迫っているためです。

住職が引退して、その時にお寺がいつもさっちゃんかかない状況になったら、その時点で前住職に詰め寄って最後の祭りです。

長い時間を経て今に残されてきたお

寺には、先人の想いや苦勞も詰まっています。

しょう。中には歴史の中で何度も危機を乗り越え、血を吐く想いで守られてきたお寺だってあるはず。それを思えば、時間に余裕があるうちに断られても無視されても変化を生み出す気がなければ、きっと将来的に待ち受けるさらに厳しい局面には対応できなくなっていく。宿坊や仏前結婚式を作り上げる道もあり。新しい社会問題に身を乗り出したってよいでしょう。そのための方法は、ここまで様々な角度から紹介させて頂きました。



宿坊スタートアップミーティング

私は仏教を伝える上でも、お寺を次世代につなげていく上でも、前例のないことに挑戦していくことは、これからますます大切になると予測しています。しかしそれを根性論だけで語るのも無責任なため、最後に私自身が行っている新しい行動を起こすための技術を紹介します。

○10年後に死ぬことを意識する

○1万人に一人の圧倒的な人に会い

これは私が行動する上で、とても役に立ったことでした。ですがお坊さんであれば、似たような話は仏教からいくらでも取り出せるでしょう。

私の技術論よりも仏教から得たものを柱に、お坊さんには前例のないことに挑戦してほしいと考えています。そしてそれはきっと人を惹きつける魅力になりますし、仏教が人を支える証明にもなります。

最後の問いかけは、やるかやらないかです。お坊さんたちは難易度の高い生き方でも通用するの。お坊さん全体のうち、それはどのくらいの割合なのか。

仏教のすごさを お釈迦様や宗祖ではなく、現代に生きる僧侶が

行く ○1日の時間配分を見直す ○インターネット上に自分の名前と顔写真を出す ○目標を細分化する。今の自分のできるレベルまで ○不安を感じたらやる。感じなかったらやらない ○「失つもの」を書き出すことで、恐怖を客観視する

担保してくれるのかどうか。私たちはそれをじっと見えています。



街中に出るお坊さん

堀内克彦

株式会社寺社旅・代表取締役社長

宿坊研究会・縁結び神社研究会・お守り研究会を運営し、参加者1000人を越える寺社旅サークルの主宰や複数企業の顧問、仏前結婚式盛り上げ企画、お寺の漫画図書館、寺社好き男女の縁結び企画「寺社コン」などをプロデュース。

著書に『宿坊に泊まる(小学館)』『こころ美しく京のお寺で修行体験(淡交社)』『恐に効く! えんむすびお守りと名所(山と溪谷社)』など。

宗教法人運営のための 法律入門

宗教法人の管理運営 4



責任役員 3

1. 責任役員の資格及び欠格事由

(1) 責任役員の資格

責任役員の資格は規則に記載しておかなくてはなりません。宗教法人法には資格に関する規定はありませんから、信者に限定されることはありません。従って、信者でなくても適任の人があれば、責任役員になってもらうことは可能です。しかし、ほとんどの包括宗教団体では、それぞれの宗制等で、氏子や信者、総代や法類、寺族等に限定しています。これに合わせて被包括宗教法人の規則でも同様の限定をしています。規則に記載された資格は責任役員を選ぶ際の要件ですから、これを欠く場合には任命されても任命の効力はありません。責任役員の資格の確認は、役員名簿で行います(宗教法人法第22条2項2号)。責任役員の登記は、昭和39年4月の商業登記法の改正に伴って行なわれた宗教法人法の改正で、不用になりました。従って、現在では役員名簿が唯一の公示手段となっています。この役員名簿は、会計年度終了後4ヶ月以内に財産目録等とともに、それらの写しを所轄庁に届出なければなりません(宗教法人法第25条2項4号)。

(2) 責任役員の欠格事由

欠格事由とは、人がある地位を得たり、その地位に就いたりする場合に、それが妨げられる理由や原因をいいます。責任役員に就任するときだけでなく、就任後であってもこの欠格事由に該当すると責任役員の資格を失うこととなって、退任となります。宗教法人法第22条は欠格事由として、つぎのものを規定しています。

- ① 未成年者
- ② 成年被後見人又は被補佐人
- ③ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

①の「未成年者」とは、満20才に満たない者をいいます(民法第3条)。但し、未成年者であっても婚姻すると成年に達したものとみなされますから(民法第753条)責任役員に就任することは可能です。

②の「成年被後見人」とは、精神上的の障害により事理を弁識する能力を欠く状況にある者で家庭裁判所から後見開始の審判を受けた者をいいます(民法第7条)。

また「被補佐人」とは、精神上的の障害により事理を弁識する能力が著しく不十分である者で家庭裁判所から保佐開始の審判を受けたものをいいます(民法第11条)。成年被後見人と被補佐人との区別は、前者は事理を弁識する能力を欠いている場合、後者は、その能力が著しく不十分である場合で、要は程度の差ともいえます。この区別の判断は家庭裁判所が行います。ここでいう事理を弁識する能力とは、事実や理論について、それぞれ区別することのできる能力のことをいいます。

③の「禁錮以上の刑」とは、死刑、懲役および禁錮をいいます(刑法9条、10条)。「処せられ」とは、禁錮以上の刑の言渡を受け、刑の言渡が確定した場合をいいます。「執行をうけることがなくなる」とは、刑の執行を猶予された場合に、刑の執行猶予の言渡を取り消されることなく、その猶予期間を経過させて、刑の言渡の効力がなくなることをいいます(刑法第27条)。そのほかにも、時効により執行が免除される場合や(刑法第31条)、大赦または特赦により刑の言渡が効力を失う場合(恩赦法第3条、同4条)もこれに該ります。

作成・監修 弁護士 長谷川正浩

『菩薩行に生きる』

御仏はこの世について“娑婆”とおっしゃいました。“娑婆”とは別名で「忍土」といい、この世はさまざまな苦しみへ耐え、我慢しなければならないということです。

かつて私自身も、この娑婆世界の中で、悲しみに泣き、苦しみにのたうち回っていたことがありました。そんな私に御仏は優しく手を差し伸べてくださいました。ある時、真っ暗な天空からえもいわれぬ美しい花びらがひらひらと私の頭上に舞い落ちてきました。それは香り色彩豊かな蓮華の花びら、すなわち「妙法蓮華経」の教えです。以来、私は泥中にしか咲かないという、この蓮華の花のように、悩み苦しみに満ち溢れたこの娑婆世界で、一本の蓮華の花を咲かせてみようと思いついて出家の道を選びました。

若き日の釈尊は、どうしたら全ての人間の苦しみを解放させ、救うことができるのかと悩まれました。それは決して個人的なものではなく、人類全ての苦しみとしてとらえた、他者の受ける苦しみや不幸を見逃すことが出来なかったのです。これが釈尊の出家の動機であります。

私は御仏が常に「この世の苦を見つめて生きよ」と呼び掛けておられると感じ15年前に伊豆の山中に駆け込み寺を建立し、現代社会に存在する多くの悩み、苦しみ、悲しみを抱える女性と向き合ってきました。そのほとんどが自殺願望・虐待・うつ病・DV被害者であります。

日蓮聖人の「一切の異の苦は日蓮一人の苦なり」この大慈悲心こそ題目の心であらうかと感じております。私はこのお言葉を胸に抱きながら、彼女らに寄り添ってきました。

自殺を試みた女性(幸い未遂に終わった)を病院に運んだ時、担当の医師に言われた、「一日に5回も祈る国があるのに日本は祈ることを忘れましたね。今こそあなた方僧侶の存在が大きいのです」と祈る事の大切さを語ってくれました。常に「死にたい」と漏らす女性たちと向き合いながら、私は「生きてこそ」更に「人は変わるもの」だと言葉を伝えております。そして「蘇ろう、羽ばたこう」と彼女らの身体を抱きかかえながら励ましてきました。

「妙とは蘇生の義なり、蘇生とは蘇る義なり」との日蓮聖人のお言葉を私自身が信じなければ到底出来えないことです。

現代社会を覆っている閉塞感とか停滞感の中で、もがき苦しんでいる彼女たちに光を見つけ出し、蘇らせることが出来れば私が出家した意味があらうかを感じています。15年間、約700名の女性たちと向き合いながら、かつて苦しみにもがいていた私自身が救われたと感じています。「菩薩行に生きたい」これが今の私の真実です。

プロフィール 戸澤 宗充(とざわ そうじゅう) 日蓮宗 一華結社

著書:「あなたが生きている理由」「一人で悩まないで」他多数。



法話

ぶつぽうそう

4

「ぶつぽうそう(仏法僧)」では専門家や大人だけではなく、子どもでも分かりやすい言葉や内容を心がけて、日々の生活に役立ち活かしていける法話を紹介いたします。

花まつり

ポスター・絵はがき 頒布開始

花まつりデザイン応募作品から作成いたしました!!

全日本仏教会では「花まつり」の社会宣揚を推進すべく花まつりポスター・絵はがきを頒布しています。昨年実施している花まつりデザイン公募、2018年のテーマは「楽しい花まつり」でした。全国から256点の応募をいただき、その中から今年の大賞に選ばれた作品を使用したポスターと絵はがきを作成いたしました。

地域や寺院で開催される「花まつり」や春のイベント告知に、新春のご挨拶や感謝の気持ちを伝えるツールとしてご活用いただくと幸いです。皆様からのご注文、お待ちしております。少数でもお気軽にご注文ください。



ポスター大賞「花まつり」「国宝 誕生釈迦仏立像」
東大寺蔵

■ポスター

- ・ポスター:1枚50円
(※別途、送料が必要です)
- ・サイズ:A2



絵はがき大賞(3作品)

「素敵なお顔!」「おてんとうさまとおしゃかさま」「みんなの花まつり」

■絵はがき

- ・絵はがき(3枚1組):無料
(※別途、送料が必要です)

皆様の花まつり・春のイベントを紹介します!

本会webサイトでは全国の「花まつり」や春のイベントを紹介したく、開催情報をお待ちしております。1人でも多くの方に「花まつり」を知っていただき、お釈迦さまのご誕生を皆さんでお祝いいたしましょう。

【お申し込み・お問い合わせ】

広報文化部

TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

E-mail:a-shimojima@jbf.ne.jp

※申込用紙は本会webサイトよりダウンロードいただけます。(http://jbf.ne.jp/)



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター



全日本仏教会

検索

<http://www.jbf.ne.jp>

発行所

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階

TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

e-mail:info@jbf.ne.jp

